



“一丁啮”が行く！

第65回：軽自動車

最近、軽自動車への関心が高まりつつあるのだそうです。

軽自動車と言えば『どうせ軽やから……』という感覚でその仕様やクオリティを追求しなかったように思いますが、最近“軽”とあなどれないクルマが続々出てきています。

テレビのコマーシャルでもおなじみのダイハツのムーブは、軽自動車ではじめて衝突回避支援システム（ムーブではスマートアシストと言っています）を搭載しました。しかも、普通車なら10万円～50万円ほどもするシステムを、機能を絞り込んで5万円程度で提供しています。パワーウインドや電動格納式ドアミラーをはじめ、キーレスエントリーシステムや運転席と助手席のエアバッグ、4輪ABS（アンチロックブレーキシステム）などは標準装備という感じになってきました。

さらに、キーレスプッシュスタート、運転席の着座位置を上下に調節できるシートリフター、横滑り防止装置、クルーズコントロール（定速走行装置）、サイドエアバッグやカーテンエアバッグなどなど、普通車顔負けの装備がずらり。『私が乗っているクルマ（普通車）にもついていない（^^;』とお嘆きの方も少なくないでしょう。まさに“軽”もここまで来たかという感じです。

ところで、こんなすごい軽自動車ですが、外国ではどうなのでしょう。海外で軽自動車が走っているというのはあまり聞きませんね。『mini』発祥の地、ヨーロッパなんかでは受け入れられてもおかしくないはず。まして、日本ブームだとかエコだとか言われている昨今、海外で“軽”がヒットしてもおかしくないと思うのですが…。

そこでちょっと調べてみました。

たしかに現地生産の形でアジア圏では“軽”が売られているようです。しかし、税制の違いからエンジンを660ccにしておく必要はなく、インドなんかではスズキのアルトが800ccのエンジンを積んで走っているそうです。

更にこんな記述もありました。

輸出の場合、台数制限があるので、利益の少ない“軽”よりは利益がしっかりと取れる1800ccクラスや高級車に力を入れているということです。また、メンテナンスや耐久性、安全性も問題になるようです。バンパーで前の車を押して駐車するというような国では、“軽”ではすぐに壊れてしまいますね。

でも、日本のクルマ技術の結晶みたいな軽自動車、もっと外国の人に知ってもらいたいと思うのは私だけでしょうか。

ごぞんじでしたか？

コンピュータの世界では横文字が多いばかりではなく、3文字程度の略称も多く使われています。SNS、ERP、SSD、RSS、SEO、RAM、LAN、Web などなど。数え挙げたら枚挙にいとまがありません。

そこで今回は、知っていそうであまりご存じないかもしれない用語について少し解説をしてみましょう。

SNS……Social Networking Service とか Social Networking Site の略

人と人とのつながりを支援するコミュニティ型の web サイトのことで、友人知人とのコミュニケーションの場を提供したり、出身学校や居住地域などの共通点から新たな人とのつながりを構築できる“出会いの場”を提供したりしています。

たいていが会員制のサービスで、自分のプロフィールを公開したり、知り合った人や探し当てた知人にメッセージを送ったり、共通の話題の掲示板を作ったりと、いろいろと「人と人が交流する」ための機能がサポートされています。

代表的なものは、日本で生まれた mixi や世界最大の SNS に成長した Facebook などがあります。

最近では、自分で SNS を開設できるソフトウェアなども公開されています。

SSD……Solid State Drive の略

フラッシュメモリーという IC メモリーを使って大量のデータを記憶しておくドライブ装置のことを指します。フラッシュメモリーを使うことから、フラッシュメモリードライブとかフラッシュディスクなどとも言われます。

ハードディスクと同じインターフェイスを備えているため、ハードディスクの代替として利用されます。

ハードディスクのように磁気ディスクを回転させて記憶するというものではなく、電氣的に記憶するためにハードディスクよりはるかに高速に読み書きができます。そして、ハードディスクのようにモーターがないために消費電力が少なく、また、機械的に駆動するところもないため衝撃に強いのが特徴です。しかしながら、容量あたりの単価は磁気ディスクよりフラッシュメモリーのほうがはるかに高額なため、ノートパソコンなどに搭載される場合はハードディスクより容量が少なくなっています。

筆者は、この SSD を搭載した薄型軽量なノートパソコンを使っていますが、電源投入時の Windows の立ち上がりはあっという間で、その高速性に驚いています。

読者 訪問



第42回

お伺いした会社	株式会社アンジェン
お話を伺った方	代表取締役 平井 隆士 様
会社の所在地	〒612-8404 京都市伏見区深草向川原町3 9
主な業務内容	防犯設備工事、電気工事
連絡先など	TEL:075-642-3336 FAX:075-642-3331
ホームページ等	URL http://anjen.jp/ e-mail office@anjen.jp



平井社長

今回は京都市伏見区にある(株)アンジェンの平井社長を訪ねました。平井社長は学校卒業後、サラリーマン生活を少し経験したのち、お父上がなさっている三興電気工事(株)にお入りになりました。同社は大手ゼネコンの下請け電気工事業として手広くやってらっしゃいますが、もっと民間を相手にした仕事がやりたいと同社を退社され、当時、京都で外国人犯罪などが多発している現状を見て防犯設備の重要性を感じ、防犯設備専門の設置工事会社として「アンジェン」を今から10年前に立ち上げられました。

社名の「アンジェン」は当時「塩ジィ」と呼ばれた塩川大臣がテレビで「イラクはあんじぇんです」と言っているのを見てこれだ！と思ったとか。

創業当時は一般的にまだまだ防犯機器設置の関心度は低く、ヤバそうな人が大金持ちくらいしかニーズはなかったそうですが、いまではセキュリティへの関心は高く、特に防犯カメラの需要は公的機関を中心に急増しているそうです。

一般的な防犯カメラ屋さんでは工事を外注することが多く、取扱いメーカーも限られることが多いようですが、同社ではあらゆるメーカーの防犯機器を取り扱っており、工事もすべて自社で施工する体制で臨んでおられます。よって、低価格で高品質のサービスが提供できるとおっしゃいます。

サポートでは、今まで某警備会社と契約をしていたのですが、異常時の電話やメールでの通報やハイビジョンライブカメラの遠隔確認などの機能をはじめ、数カ所のセンサーライトの設置等も含めて大幅なコスト削減ができることから、今般アンジェンさんの警備システムに更新しました。

また一方で、アンジェンさんの業務効率アップのためにサポート製販売管理『はんばいQsp MSG』をご導入いただくなどお互いにいいコラボ関係が構築できました。

時流に乗ってますます躍進されるアンジェンさんのこれからを期待したいと思います。



セキュリティ機器本体



入室感知センサー ハビジョンカメラ

犬も歩けばサポート日記

シーズン2



サポートのシステムはいろいろな業種・業態でお使いいただいております。こんな業種でこんな使い方をされているといった事例をご紹介します、参考にさせていただきたく思っております。

部長：おーい、猫山君。ほちほち行くか？
猫山：そうですね。行きましょう。
部長：で、今日はどちらのお客様を訪ねるのかな？
噂ではかなり変わった業種だとか？
猫山：そうなんです。今日お伺いすることになっているのは義足や義手を作っておられる〇〇〇研さんです。

部長：うむむむ...
猫山：どうしたんですか、部長？
そんな渋い顔して。
部長：いやー、義足や義手を作っておられる会社様ではどんな要望があったのかな、と想像しているのだが全然思いつかなくてね。
猫山：いやいや、そんなに特殊なものはないかなと思いますよ。強いて挙げれば価格の計算が独特だったかな。あとは過去歴の検索、運送便送り状の発行といったところですかね。

猫山：ということで部長、こういうお客様も持つておくとうれしいことがあるかもしれませんよ！
部長：そうだな、と言いたいのが君の場合はダメだろう。
猫山：は？
部長：君の場合は時々誤動作する頭の取っ替えがきかなきゃな。しかも記憶容量増強オプション付きでね！
猫山：あー、やっぱそこに来ますかあー...

部長：価格？ 義足1式いくら、ではないのかな？
猫山：それはちょっと大雑把すぎませんか？ 義手を例にとると分かり易いですが基本モデルは指の数とかで数種類に分かれています。それにオプションが必要に応じて付くんです。
部長：オプション？
猫山：そうです。芯有り、とかマジックテープ付きとかです。指を自由な形に曲げるために芯を入れる、また手に持つイメージで使えるようにするためマジックテープを付ける、などする訳です。
部長：あーなるほど。それぞれ単価が決まっていっていくつ必要かを指示して単価が積算される訳だ。
猫山：ご名答です。さらに言えば基本モデル毎に付けられるオプションも決まってくるので基本モデルには種類と単価を設定できるようにしています。特殊仕様は別としてこの機能を使えば見積書も簡単に発行できるのです。
部長：そうか。で過去歴の検索は？
猫山：こういった商品は生活に密着するものですよね。やはり壊れたりしたら修理や作り直しが必至です。それが数ヶ月以内の話ならいいですけど何年も経ってから、となるとやはりシステム的な検索が便利ですよ。〇〇〇研さんではまず売上履歴から日付の時期を特定して別に構築されているドキュメント管理システムで二次検索、当時の写真や図面を取得されています。
部長：写真や図面の検索までははんばいQで出来れば凄く便利になるじゃないか！
猫山：そういう提案もしましたが、やはりすでに蓄積されている膨大なデータの紐付けを後追いでするのは困難ということで...
部長：なるほどなあ。時には現実を直視すべき、ということだね。
猫山：ちなみに運送便送り状は主要2社について2台のドットブリタを常設、A4カット紙の売上伝票と同時に送り状も発行できるようにして効率化を図っています。
部長：最近は各社シール形式になっているがあれだと外部のアプリから発行できないからなあ。しかしドットブリタは高いねえ。
猫山：一度ブリタが壊れたため私が奔走して中古のブリタを安く手当てしたことがありました。安いドットブリタのことなら猫山まで！